

様式第二号(第八条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画作成報告書

令和5年6月20日

埼玉県
西部環境管理事務所長 殿



提出者
住 所 埼玉県所沢市坂之下85番地
氏 名 山崎製パン株式会社埼玉工場埼玉第一工場
工場長 廣 健太郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 04(2944)5111

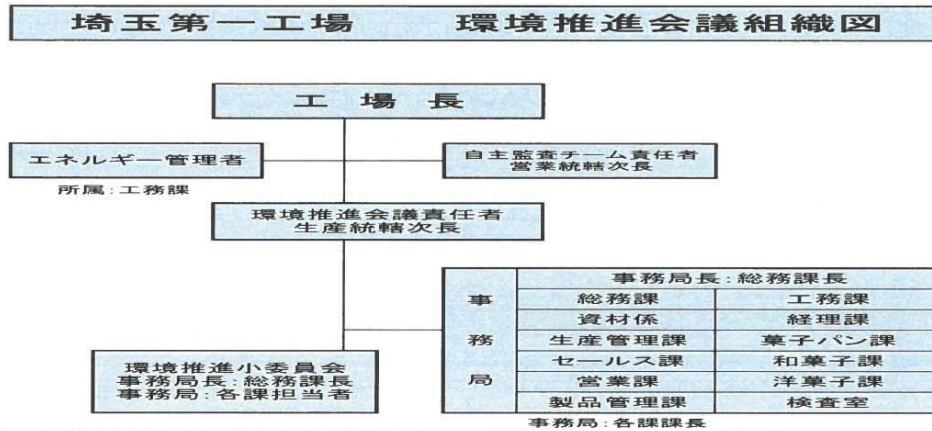
令和5年度の廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	山崎製パン株式会社埼玉工場埼玉第一工場
事業場の所在地	埼玉県所沢市坂之下85番地
計画期間	令和5年4月～令和6年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食品製造業
②事業の規模	128億円(令和4年度実績)
③従業員数	563人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック: 収集運搬(ウム・ウエルト) → 処分(ウム・ウエルト) 収集運搬(日本環境) → 処分(エコ・エナジー・ジャパン) 動植物性残渣(なま生地, フィリング等): 収集運搬(ウム・ウエルト) → 処分(エコ・ト) → 処分(エコ・ト) 汚泥: 中間処理(自工場) → 収集運搬(誠光産業) → 処理(朝日アグリア)(UBE三菱セメント) 混合廃棄物: 収集運搬(ウム・ウエルト) → 処分(ウム・ウエルト)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 *別紙あり【別紙1】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動植物性残渣
	排出量	275 t	147.3 t
② 計画	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・焼成前の生地と焼成後のパン（焼生地）の分別 ・焼成前の生地を焼成し、有価物として売却することによる動植物性残渣の削減 ・廃プラ（紙素材のもの）の分別による有償化 ・棚卸回数の増加による原料の過剰在庫の減少 		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動植物性残渣
排出量	261.3 t	139.9 t	
② 計画	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチックの一部を有価回収業者へ売却する ・5S導入による発生抑制への取組み ・ゴミ回収場の整理整頓等 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・動植物性残渣（焼成前の生地と焼成後の生地の分別） ・廃プラ（付着物のあるものと無いものの分別・紙素材のもの有償化）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・上記2点の更なる分別向上の呼びかけ

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 *別紙あり【別紙2】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動植物性残渣
	全処理委託量	275.0 t	147.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	275.0 t	147.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・フィリングの使用量見直しによる動植物残渣の排出量削減		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動植物性残渣
	全処理委託量	261.3 t	139.9 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	261.3 t	139.9 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・廃プラスチックの回収業者の見直し (一部有償化)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙 1】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物
	排 出 量	461.8 t	14.4 t
	(これまでに実施した取組) ・排水口へのフリンク類の垂れ流しの禁止		
④ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物
	排 出 量	438.7 t	13.7 t
	(今後実施する予定の取組) ・フリンク類の拭き取り徹底		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑤ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃蛍光管
	排 出 量	29.6 t	0.01 t
	(これまでに実施した取組) ・LED蛍光管に変えていく		
⑥ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃蛍光管
	排 出 量	28.1 t	0.01 t
	(今後実施する予定の取組) ・蛍光管のLED化を継続する		

【別紙2-1】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物
	全処理委託量	461.8 t	14.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量	461.8 t	14.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組) ・業者変更による再資源化率の向上 ・フィリング等の拭き取り作業		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		汚泥	混合廃棄物
全処理委託量		438.7 t	13.7 t
優良認定処理業者への処理委託量			
再生利用業者への処理委託量		438.7 t	13.7 t
認定熱回収業者への処理委託量			t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t
(今後実施する予定の取組) ・弊社污水处理施設による汚泥発生抑制の安定化 ・回収業者の見直し ・フイリング類の拭き取り徹底			
※事務処理欄			

【別紙2-2】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃蛍光管
	全処理委託量	29.6 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量	29.6 t	0.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・LED蛍光管に変えていく		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃蛍光管
	全処理委託量	28.1 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量	28.1 t	0.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・蛍光管のLED化を継続する		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和4年度)実績量
計画:今年度(令和5年度)計画量(目標)

山崎製パン株式会社 埼玉工場埼玉第一工場

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画		
廃プラスチック類	275.0	261.3	-	-	-	-	-	-	-	-	275.0	261.3	-	-	275.0	261.3	-	-	-	-
動・植物性残渣	147.3	139.9	-	-	-	-	-	-	-	-	147.3	139.9	-	-	147.3	139.9	-	-	-	-
汚泥	461.8	438.7	-	-	-	-	-	-	-	-	461.8	438.7	-	-	461.8	438.7	-	-	-	-
混合廃棄物	14.4	13.7	-	-	-	-	-	-	-	-	14.4	13.7	-	-	14.4	13.7	-	-	-	-
金属くず	29.6	28.1	-	-	-	-	-	-	-	-	29.6	28.1	-	-	29.6	28.1	-	-	-	-
廃蛍光管	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	-	-	-	-
合計	928.11	881.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	928.11	881.7	0.0	0.0	928.11	881.7	0.0	0.0	0.0	0.0